

# 横山幸次

区政報告  
ニュース

## 801

2021年5月23日  
発行 日本共産党区議団  
3802-4627  
fax 3806-9246  
arajcp@tcn-catv.ne.jp

横山区議事務所  
荒川区町屋5-3-5  
3895-0504  
Eメール: アドレス  
kouji.office@gmail.com

荒川区政の各種情報・  
話題など...横山幸次区議  
のホームページをご覧ください。

## 65才以上の9割分のワクチン確保 高齢者の7月末接種完了の予定

### ワクチン 接種は...



5月17日、日本共産党区議団は、西川区長に緊急事態宣言延長とワクチン接種予約開始にあたっての緊急申し入れを行いました。区は、北川副区長が対応しました。(詳細は、裏面を参照)

### 日本共産党区議団が緊急申し入れ

今後は1日ずつ予約可能日が  
荒川区は、5月31日の週末まで  
にコロナワクチンは76箱(88  
335回44,167人分)、  
区内の65才以上高齢者の9割分  
を確保したとしています。  
こうした中、ワクチン接種ス  
ケジュールについて議会に報告  
がありました。集団接種とともに  
個別接種・訪問接種も行い、  
7月末までには、高齢者5万人  
の接種を完了する予定  
としています。



荒川区は、5月31日の週末まで  
にコロナワクチンは76箱(88  
335回44,167人分)、  
区内の65才以上高齢者の9割分  
を確保したとしています。  
こうした中、ワクチン接種ス  
ケジュールについて議会に報告  
がありました。集団接種とともに  
個別接種・訪問接種も行い、  
7月末までには、高齢者5万人  
の接種を完了する予定  
としています。

### 荒川区におけるワクチン接種スケジュール： 訪問、個別接種も実施に向けて準備中です

荒川区におけるワクチン接種スケジュール(予定)		5月	6月	7月	8月	9月~
高齢者施設入所者		5月10日~				
集団接種	75歳以上	5月24日~				
	65歳~74歳	6月上旬~				
	64歳以下基礎疾患・ 高齢者施設等従事者	6月上旬~ 7月上旬~ <small>事前申告=接種券発送</small>				
	64歳以下 上記以外	7月下旬~(調整中)				
訪問接種		6月中旬~(調整中)				
個別接種		7月上旬~順次実施(調整)				

集団接種会場と1日最大接種数	
スポーツセンター	360人
サンパール荒川	360人
ムーブ町屋	180人
汐入公園 防災倉庫	180人
都立大(7月1日から はアクト21へ)	360人
ホテルラングウッド	180人
七峡小、尾久八幡中、 尾久ふれあい館	270人
~ 毎日、土日のみ	

区は5月26日からです。国の大規模接種センターの受付が始まる中、区民からは「なぜ荒川区は遅れているのか」など問合せが多く寄せられました。区は、急遽「国の大規模接種センターの予約を検討されている方へ」として26日発送を「数日前倒しして発送する」と発表しました

### 65歳以上高齢者の接種券を前倒し発送へ

訪問・個別接種は現在調整中ですが、実施するとしています。高齢者施設等従事者の方、64歳以下で基礎疾患のある方も7月上旬から接種できる予定です、6月7日、20日の間に区の相談センターに事前申告が必要です。

増えていくことになり、5月25日以降、1日あたり約1,600人が予約をできる枠を追加していきます。

困ったことなどお気軽にご相談ください (03)3895-0504 横山事務所

### 裏面 申し入れ全項目、 コロナ禍とひとり親家庭 の子どもたち...など

### 定例法律相談会

6月7日(月)  
横山事務所  
18時~20時

弁護士と横山区議が相談をお受けします。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日など紹介します。  
生活相談は、随時受付しています。  
TEL&FAX 3895-0504  
不在時は、留守電へ、後で連絡します。  
区役所控室 3802-4627

### まちの話あれこれ

旭電化通り(補助193号線)の事業期間2024年が迫っていますが、空き地も見えますが、最後まで生活再建を優先した取り組みが必要

都市計画道路の一つとして補助193号線 地元的には、旭電化通りの整備(2024年まで)がこの間取り組まれています。この通りは、旭電化通り商店街であり商業集積地として成立してきました。事業にあたって生活再建とともにこの通りを商業含めてどう再生するかなどまちづくりの観点も必要だと思えます。もちろん防災は、最優先です。しかし道路の拡幅だけで防災機能を語ることは、無理がある

横山幸次



所々に更地になった場所も  
まだまだこれからですね...



# コロナ禍がひとり親世帯など直撃 10%超で子どもの体重が減少

コロナ感染拡大の長期化が、ひとり親世帯の家計や健康面をより困難している実態が明らかになっていきます。

NPO法人「しんぐるまざあず・ふぉーらむ」と立教大・湯沢直美教授（社会福祉学）らの調査では、都内に住む約半数が常に「就労収入がコロナ拡大前より減少した」と回答。預貯金が「10万円未満」の世帯割合も徐々に上昇し、直近で4割近くに達しています。今年2月で、米などの主食が買えないことが「よくあった」とときどきあった」と回答した世帯は都内で3

割超。肉、魚が買えなかった経験があるとの回答はさらに多く、5割以上となっています。

影響は、暮らしだけでなく、小学生の子どもが「学校に行きたがらなくなった」「行かなくなり」「学校の学習についていけない」との答えは4割超に上っています。長期化するコロナ禍が、子どもの成長や将来に深刻な影響を与えています。給付金の拡充、所得保障とともに、家賃助成など区でもできる支援の具体化が必要です。



## 《申し入れの主な内容》

### 1. 東京オリパラについて

国、都に、東京五の中止を直ちに決断し、新型コロナ感染症対策に集中することを求めること。

都に児童生徒を動員する学校観戦は、直ちに中止すること求めること。

学校観戦を返上すること。

### 2. ワクチン接種について

高齢者のワクチン接種の予約について、きめ細かく「予約サポート会場」「支援員」など配置すること。

各医療機関での個別接種、訪問接種などを実施すること。

高齢者をはじめ接種会場への移動困難者に「送迎」「タクシー代補助」など具体化する。

ワクチン接種の正確でわかりやすい情報提供を行うこと。

### 3. 検査の徹底と医療支援

都に、医療機関、高齢者施設、障害者施設での定期的検査を継続するとともに、定期的検査は対象拡大、戦略的検査強化事業の規模を大幅引き上げを求めること。

都に、都内在住者と在勤者が無料で検査を受けられるよう求めること。

区独自の無料検査を実施。学校、保育園、児童デイなど子育て関連施設の検査を実施。独自検査を実施している保育園などに補助を行うこと。

都に、変異株の検査は全ての陽性検体に対して行うよう求めること。また区としても同様の対応を行うこと。

### 4. 事業者への支援について

濃厚接触者だけでなく広範囲の検査を実施すること。

都に、都立病院と公社病院の地方独立行政法人化を中止するよう求めること。

都に、コロナ患者を受け入れられない医療機関も含め財政援助を行うよう求めること。

自毛療養者への往診等の医療支援を強化拡充すること。

保健所の医師を含めた抜本的な体制強化を行うこと。

事業者向けのコロナ関連支援制度をまとめたリーフレットを作成して配布すること。

政府に、持続化給付金、家賃支援給付金などの制度を再度実施など求めること。

都に、影響を受ける全事業者への支援、協力金等の申請簡素化、迅速な支給、協力金等が日割り支給されるなど改善を求めること。

区内事業所の実態調査を実施し、支援に結びつけ、産業振興施策に生かすこと。

区の事業継続支援制度を創設し実施すること。

### 5. くらしの支援について

国保、介護など保険料、住民税のコロナ減免制度を引き続き実施し、6月の通知の際にお知らせを同封すること。

区施設利用制限の可能人数に心し利用料を減額すること。

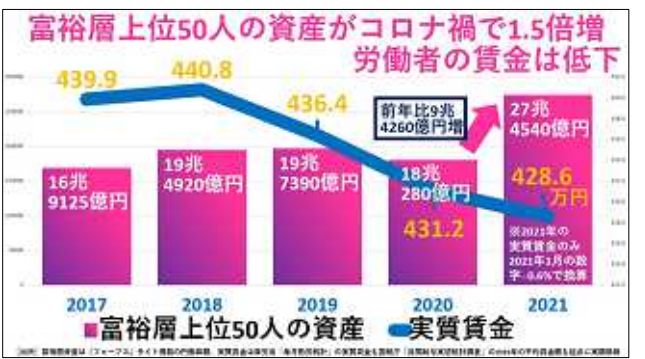
生活保護申請では、扶養照会を行わないこと。また厚生労働省通知（3月30日付）の趣旨を踏まえ、申請者本人の意思を最大限尊重すること。

## 今週のデータ コロナ禍で富裕層の資産1.5倍増 労働者の賃金は低下の一途...

日本の富裕層上位50人の資産はコロナ禍の1年で9兆4千億円も増加しています。一方、労働者は失業や賃下げで貧困化。しかし政府は富裕層には減税、庶民には消費税増税で所得再分配どころか庶民収奪を続けています。

一方で、消費税を補助金に使う病床削減計画を強行しようとしています。

コロナ禍でベッド不足、医療崩壊が言われる中で病床削減の逆立ち政治を続けさせるわけにはいきません。



## オリンピックの中止要請と児童生徒の観戦動員の取りやめを

荒川区教育委員会は、区立幼稚園5才児から小中学校の児童生徒全員をオリパラの観戦に動員する計画を2019年に東京都に提出しています。小中学校の年間行事予定に掲載されています。

この計画はコロナ感染拡大前のもので感染リスクは、考慮されていません。競技会場までの移動は公共交通機関。変異株は子どもにも感染しやすいと言われて



います。ワクチン接種もしていない子どもたちが密になって移動、夏の炎天下の競技もあり熱中症の危険も指摘されています。その一方で、不参加は欠席扱いといひます。子どもたちが楽しみにしている運動会など学校行事が相次いで中止になる中、オリンピック開催と子どもたちの動員...全く理解できません。

日本共産党区議団は「東京都に対し学校観戦は中止することを求めること」「荒川区は学校観戦を返上すること」を5月17日に申し入れました。